

第5期「にいがた福祉リーダー塾」開講

主催：新潟県労働者福祉協議会 共催：新潟ろうきん福祉財団

中央労福協、労働者福祉東部ブロック協議会が実施してきた福祉リーダー塾を新潟県内で、より多くの方から参加できるようにと、新潟労福協が地域版として、全国の地域労福協に先駆けて実施しています。2013年度からはじまった同塾は、今年で5年目を迎え、およそ80名の塾生を輩出しています。

開催日：2017年7月14日(金)～15日(土) 会場：万代シルバーホテル

第一講義

タイトル：歴史から学ぶ労働者運動・労働者自主福祉運動の理念とこれからの役割

講師：高橋 均氏(中央労福協 アドバイザー)



第二講義

タイトル：連帯経済の担い手としての労働者自主福祉～その中での労働組合・労福協の役割と運動～

講師：高木 郁朗氏(日本女子大学 名誉教授)



第三講義(第1部)

タイトル：労働金庫運動の基本方向と課題

講師：大津 岳氏(労働金庫 常務理事)



第三講義(第2部)

タイトル：全労済運動の基本方向と課題

講師：佐藤 浩氏(総合生協 常務執行役員)



第四講義①

タイトル：NPO活動、地域づくりの現状と労福協との連携

講師：金子 洋二氏(NPO法人 まちづくり学校理事)



第四講義②

タイトル：子ども食堂の取組

講師：細野 弘康氏(新潟地区労福協事務局次長)



グループミーティング

- (1)「働くことを軸とした安心社会」の実現に向けた労働組合・労福協の役割
- (2) 労福協の地域運動の実践課題は何か
- (3)「協同組合間協同」の在り方
- (4) 労福協とNPO等市民活動団体との連携と協同をどう進めるか



本紙含む過去のレポートは、ろうきん財団ウェブサイト「ライフプランセミナー」よりダウンロードしてご覧いただけます。
<http://www.zaidan-hukushi.or.jp>